

## 病性検定依頼時の留意点

### 1 病性検定の材料及び採材について

各検体は採材後できるだけ早く冷蔵保存・送付してください。  
 冬期間も凍結を避けるため冷蔵保存・送付をお願いします。  
 血清・血液は採血管に1ml以上採材してください。  
 検査材料の量不足や劣化等で検査不可能となった場合、追加採材や検査不適となる場合があります。

### 2 各検査の材料および留意点（☆：当所で主に行っている健康検査方法）

検査目的	搬入材料	検査方法・項目	留意点
疾病別	血清	☆抗体検査	検査対象月齢：6か月齢以上 （6か月齢未満：糞便による遺伝子検査） ※抗体陽性となった場合：糞便による遺伝子検査
		遺伝子検査 直接鏡検	糞便は <b>ピンポン玉大以上の量</b> を直検手袋で採材してください 発症を疑う場合をお願いしたいこと ・迅速な診断のため、材料は <u>速やかに</u> 当所へ搬入してください ・搾乳牛の場合、採材時点から検査結果判明まで、当該牛の生乳の出荷を自粛するよう、飼養者へ指導してください
	糞便	☆細菌培養	健康検査はスワブ1本で検査可能です 発症疑いの場合、糞便は <b>ピンポン玉大以上の量</b> を直検手袋で採材してください
	血清	☆抗体検査	検査対象月齢：6か月齢以上 （6か月齢未満：血液による遺伝子検査）
		遺伝子検査 白血球数 白血球百分比	血液は時間経過による劣化で白血球像の観察が困難となります。採材翌日以降に当所に到着する場合、採材当日に <b>血液塗沫標本を作成し、メタノール固定</b> したスライドガラスを血液と併せて送付してください 作成した標本に牛の個体識別番号等の記入をお願いします
血液 血清	☆遺伝子検査 ウイルス分離 抗体検査	6ヶ月齢未満の場合は、血液（全血） 6ヶ月齢以上の場合は、血清が必要です	

検査目的	搬入材料	検査方法・項目	留意点	
原因検索	呼吸器病	鼻汁 スワブ	細菌学的検査 マイコプラズマ検査 ウイルス学的検査	集団発生の場合は複数頭を採材してください 発症牛1頭につきスワブ3本以上（ウイルス検査、細菌検査、マイコプラズマ検査）採材し、綿球部分は乾燥しないように滅菌水または滅菌生食に浸漬してください
		血清	抗体検査	発症時及びその約3週間後の計2回、同じ牛から採材してください
		糞便	肺虫検査	糞便は <b>ピンポン玉大以上の量</b> を直検手袋で採材してください
	下痢	糞便	細菌学的検査 ウイルス学的検査 寄生虫学的検査	糞便は <b>ピンポン玉大以上の量</b> を直検手袋で採材してください
		血清	抗体検査	発症時及びその約3週間後の計2回、同じ牛から採材してください
	異常産	胎子 胎盤 母牛血清	細菌学的検査 ウイルス学的検査 寄生虫学的検査 病理組織学的検査	集団発生の場合は複数頭を採材してください 過去に流産している母牛血清も採材可能な場合は採材してください
	病理組織	臓器	病理組織学的検査	依頼内容について、事前に当所担当者に電話連絡してください。検体を浸漬したホルマリン液を送付する場合、液漏れに注意してください。

### 3 検査依頼時に必要な事項

#### (1) 検査材料

検査材料の容器には、以下の項目を記載してください。

ア 飼養者の市町村名と氏名

イ 採材年月日

ウ 検体情報（個体識別番号や名号、必要に応じて検体の内容等）

#### (2) 依頼内容の詳細

ア 疾病原因検索の場合

「病性鑑定依頼票（疾病原因検索）」に記載の上、検体・疫学情報、診療経過等の詳細（カルテのコピー等）を検査材料に添付してください。

イ 健康確認検査の場合

「健康確認のための検査依頼票」に記載の上、子牛登記又は血統登録書のコピー等を検査材料に添付してください。

#### (3) 検査項目について

目的とする検査項目や必要な検体の種類について不明な場合は、いつでもご相談下さい。

また、検査依頼に迅速に対応できるよう準備が必要なため、検査依頼内容について事前に ご連絡いただきますようお願いいたします。